

令和元年 12月 7日(土)

第9回中高生国際Rubyプログラミングコンテスト 最終選考会 ～メカトロ部～

令和元年12月7日(土)に第9回中高生国際Rubyプログラミングコンテスト最終審査会が東京都三鷹市で行われました。本校メカトロ部では103作品応募のなか、4名3作品が予選を突破し、最終審査会に出場しました。

この大会は、子どもたちがRubyを言語とするプログラミングを学び、自分でコンピューターを動かしたときの感動や、作った作品を発表する経験を通して、新しい世界への興味や関心呼び起こし、将来への夢をはぐくむことを目的に実施しています。

本大会は、ゲーム部門とクリエイティブ部門と別れ、ゲーム部門とはその名のとおり、作品として作ったゲームが評価されます。クリエイティブ部門とは、実社会において人々が役立つソフトを作品として、それが評価されます。

最終審査会では、自分たちの作品のプレゼンテーションを、日本を代表するIT企業の方々や、大学の教授に審査してもらいます。最終審査会の結果は、情報電子科3年千原安司君と、情報電子科3年福永蓮君は、ゲーム部門でそれぞれ審査員特別賞、クリエイティブ部門では、情報電子科2年の林晃太郎君と井上裕君は、チームで応募しており、審査員特別賞を受賞しました。

小学校でも2020年からプログラミング教育が必修化され、注目される業界であるために、今後も本校メカトロ部の活躍に期待が寄せられます。



大会の様子



リハーサルの様子



千原君(左)と福永君(右)の発表



井上君(左)と林君(右)の発表



最終審査会に参加した生徒たち



受賞された参加者